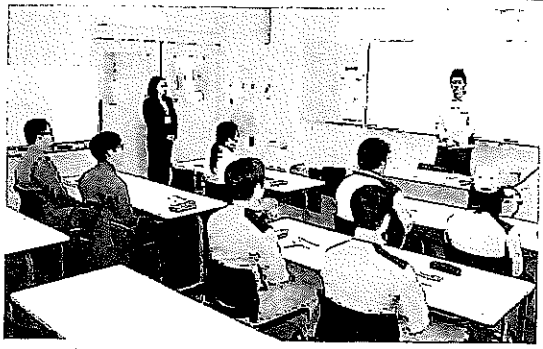
社会人の心構えなど学ぶ

県電設協が初任者教育開始

熊本県電設業協会（松尾修一会長）が主催する電気工事初任者教育講習会が9日、合志市のポリテクセンター熊本で始まった。会員企業に今春入社した新社会人らを対象に、5月15日までの延べ8日間（48時間）の日程で実施される。

人材育成事業の一環として毎年行われており、今年は13人が参加。ビジネスマナーや電気の基礎理論、関係法規、工事実務など幅広い内容を指導し、現場力強化や技能継承を目指す。

初日は、キャリアコンサルタントの国家資格を持つ嶌安由巳氏（スマイルサポート・熊本市北区）が講義を担当した。嶌氏は、社会人の心構えをはじめ、挨拶やコミュニケーションの取り方、コンプライアンスの順守などを解説し、「会社が目指す目的に向けて協働の意志を持ち、自発的に行動してほしい」とアドバイスした。



自己紹介の実践練習もあり、参加者は「何事も諦めずこつこつ続けられる」「誰にでも優しくできる」「人と仲良くなることが得意」などとアピールし、実社会での活躍を誓った。